

# Journal Japon

在仏日本人会 会報 2019年3・4月号

## マロニエの会・新年会

～新年会万年係長として～

二口 節子



平成最後の年、平成31年(2019年)の新年会、最後の最後までぎりぎりの申し込みを受けました。何とか皆様のご希望をかなえたいという気持ちから・・・、なんと121人の参加者でした。今までにない大人数、椅子が果たして足りるのか、お料理は・・・。マロニエの会の苦手な機械類担当を日本館館長の森田先生と、昨年に引き続いて山本厚司さんが担当してくださることになり心安らか。他のことは何とかなるマロニエの会と思っていました。まあ、本当になんとかなりました。スタッフとして活躍くださった方々の優しさ大人の配慮、なんといっても参加された方々の楽しもうという心がこの新年会を盛会へと導いてくれたように思います。来年の課題は? どうか締め切りを守っていただきたい、百人を超えるとやはりしんどい、が本音でした。皆様のご協力に感謝しつつ、また来年の為のアイデアをどうか温めて、お聞かせください。どうもありがとうございました。



## 補 習 校 だ よ り



## 2019年1月・音読発表会

今年は、私にとって最後の音読発表会でした。低学年の時は、保護者の前で緊張するばかりで、全く面白くない行事でした。けれど、今では、単に教科書を読むだけではなく、聞き手が理解しやすいように読みたいと考えるようになりました。例えば、間を入れたり、抑揚をつけたりする音読を心がけるようになりました。このように気合いを入れ始めたら、音読発表会はずっと楽しい行事になりました。後輩の中で、今は音読が辛いと思っている人がいるかもしれませんが、私のようにいつか音読発表会の楽しさに気がつく日が来るかもしれないので、諦めないで日本語の勉強を頑張ってくださいと思います。

岩淵舞花

## 引越しセミナー

参加者特典をご用意しています!

4月16日(火) (昼食付)

10時～12時30

JAL会議室



たくさんの手荷物も、  
トランスユーロにおまかせ!


[transeuro.jp/cdg.pdf](http://transeuro.jp/cdg.pdf)


トランスユーロ  
transeuro.jp

TEL : 01-4058-1000  
✉ paris@transeuro.jp

## 特 集

## 黄色いベスト運動とフランス経済

在フランス日本国大使館参事官

有利 浩一郎

## ■ フランス人は150年来変わっていない？

フランスの体制や風習では、人民が皆政治に関わるうとし、民間に権力があり、政府に威力が薄く、民心が沸騰し易く、それが激動する時に常に政府を突き上げ、制度を転換させようとする。

これ、今回のテーマである「黄色ベスト運動」（Gilets Jaunes）について書かれたものと思われるかもしれませんが、実は違います。驚くべきことですが、今から約150年前の1870年10月10日、普仏戦争においてプロイセン軍がパリを包囲する中で、パリに留学していた渡正元が、ナポレオン三世のプロイセンへの降伏後に成立した共和制を観察して書いた言葉です（渡正元著、横堀恵一校訂現代語訳「巴里籠城日記」）（注）。

フランス人にも色々な人がおり、まとめて一括りに語るのには良くありませんが、人々の気質や世の中の雰囲気はそう簡単には変わらないのかもしれません。マクロン大統領は、昨年12月10日の国民向けの演説で、国民の不満は40年来のものであり、（とても深いところに根差しているという意味で）「とても遠くから来ている（Cela vient de très loin）」という表現を使っていましたが、引用した渡正元の記述をみると、こうしたフランス人の国民性自体、はるか遠くの昔から来ているように思えます。

（注）冒頭の文章の原文は「佛の國體（こくたい）は其土風人民舉（こぞ）て政治に關係し、草莽（そうもう）に權ありて廟堂（びやうどう）に威力薄く、動（や）もすれば民心沸騰し、其激動するに當（あた）ては常に政府を衝いて制度を轉（てん）換せしめむとす。」

## ■ 2018年予算案（2017年秋）

さて、そのマクロン大統領ですが、2017年5月の大統領選挙では国内投資を増加させるため連帯富裕税の課税対象から金融資産を外して「不動産富裕税」とすること、サラリーマンの保険料負担を下げることを、軽油の燃料税率をガソリンの燃料税率にあわせていくことを公約として語っていました。また、欧州連合の財政上の基準の一つである財政赤字対GDP比3%以内の目標を達成することも公約としていました。

そして初の予算編成である2018年予算案・社会保障予算案では、連帯富裕税を不動産富裕税に変え、一般社会税（CSG）の増税を財源にサラリーマン負担分の健康保険料・失業保険料を廃止し、環境配慮のため軽油・ガソリンの燃料税（エネルギー産品内国消費税）の税率を引き上げ、かつ、軽油の税率を大幅に引き上げてガソリンの税率に近づけるという改正を盛り込んだのです。

2017年10月から始まった議会審議や新聞紙上で一番議論に上ったのは連帯富裕税を不動産富裕税に変える改正でした。ル・モンド紙では、日本でも有名になったトマ・ピケティ氏がこの改正は歴史的誤りだと厳しく批判し、議会でも世論への配慮の観点から、最終的に不動産富裕税と同様の課税をヨットなどにも

広げる修正を盛り込んでいます。

また、サラリーマン負担分の健康保険料・失業保険料の廃止については、ほとんどすべての所得に課税される一般社会税の増税で財源を確保し、国民みんなの負担で労働者の負担を下げるという考え方をとっていますが、これについては予算提出時の2017年9月、予算法成立後の2018年3月および6月に、保険料廃止の恩恵を受けないのに一般社会税増税の対象となる一定収入以上の高齢者の中で不満が高まり、小規模のデモが起きました。それに、当時それほど大きな問題にならなかったものの、実は、保険料負担の廃止が2018年1月と10月の2段階で行われたのに対し、一般社会税の増税は2018年1月に一に行われたため、増税が減税よりも先行し、2018年は、約40億ユーロ（約5000億円）の一時的な負担増が国民に生じてもしました。その結果、保険料負担が廃止される10月までは国民全体では購買力が落ちていた可能性があります。

軽油・ガソリンに関する燃料税の増税については、2017年から2018年に向けて1リットル当たり軽油は0.08ユーロ（約10円）、ガソリンは0.04ユーロ（約5円）の増税が盛り込まれ（付加価値税への影響分も含みます）、その後も2022年まで毎年税率を上げ続ける改正が2018年予算案に盛り込まれていました。しかし2017年秋の議会での審議では昨秋のような大きな問題にならず、与党少数の上院で修正案が出たものの、結局そのまま予算法が成立しています。つまり、軽油とガソリンの2022年までの増税は2017年末の時点ですでに法律で決まっていた話だったのですが、昨年の「黄色ベスト運動」の中では、政府が2019年予算案に2019年に向けて新たに軽油やガソリンの増税を盛り込んでいると誤解していた人たちが多くいて、さらに、そうした勘違いをしていると思いき閣僚がいたことも驚きでした。逆に言えば、いかに2017年秋の2018年予算案の審議でこの増税が問題にならなかったかを物語っているとも言えます。

## ■ 2018年10月、何が起きたのか

直接の契機は、石油価格上昇による燃料価格の上昇が10月半ばにかけて起き、特に増税幅が大きかった軽油では2017年末と比較して1リットル当たり0.25ユーロ（32円）の価格上昇、ガソリンでも0.16ユーロ（21円）の上昇となって、人々がにわかに2018年の増税と翌2019年の増税の存在に気付いたことにあります。しかし、サラリーマン負担分の保険料廃止に先立って一般社会税の増税が先行する状態が9月末まで続いていたことも、人々の直感的な負担増の感覚につながった可能性があります。失業率が大きく下がって、人々の暮らし向きが好転していれば話は違ったかもしれませんが、2017年に8%台（仏本土）に下がった失業率も、2018年に入って若干上昇しその後足踏みしていたこともあり、後から振り返ると、昨年10月迎に「民心が沸騰し易く」なる条件が整ってしまったのかもしれません。



ちなみに「黄色ベスト」自体は、2008年7月30日のデクレ第2008-754号による道路法典R416-19条の改正により「車の運転手は緊急停止に続いて路面又はその周囲において動かなくなった車両から外に出ることになったときに規則に従った高い可視性のあるベストを着用しなければならない」という条項が入り、2008年10月1日から着用が義務付けられたため、皆が運転の際に携行しなければならなくなったものです。

### ■ 2018年12月の経済社会緊急対策

当初は軽油・ガソリン価格の上昇に端を発した燃料税率の増税反対運動だった黄色ベスト運動も、日を経るにつれ、富裕層への税負担を下げるのはおかしいという観点から連帯富裕税の復活や、高齢者への一般社会税増税の撤回、インターネット企業への課税強化といった主張が行われ、さらには現在の第5共和制を終わりにして第6共和制に移行すべきだとか、市民のイニシアティブによる国民投票を行うべきといった主張も出て、国の政体の在り方の問題にも波及していきます。

軽油・ガソリンの燃料増税は、気候変動問題や環境問題への対処の観点から必要な政策であり、かつ、それを撤回すれば40億ユーロ(約5000億円)の減収となるので財政赤字3%の基準を超える恐れがありました。したがって、政府としては、当初、増税の撤回に応じないという姿勢でしたが、日に日に運動が激しくなり、フィリップ首相は増税の6ヶ月延期を表明するも運動は収まらず、ついに12月10日、マクロン大統領はその撤回を表明するに至ります。

さらに、国民の収入を増やす購買力向上対策として、(ア)本年3月末までに支給されるボーナスに対する所得税・一般社会税・社会保険料等の免除、(イ)残業手当への所得税・社会保険料の免除、(ウ)一部の退職者に対する一般社会税増税の撤回、(エ)活動手当増額と最低賃金増額を合わせた低所得者の月100ユーロの収入増確保も表明します。一方で、投資促進のため連帯富裕税の対象から金融資産を外して不動産富裕税にした改正は元に戻さないとも表明、こうして「国民の購買力向上」と「投資促進・企業競争力向上」というマクロン大統領の主要原則を辛うじて維持した形の経済社会緊急対策がまとめられ、政府は12月19日に対策法案を議会に提出、21日に議会で法律が成立し26日に公布されています。

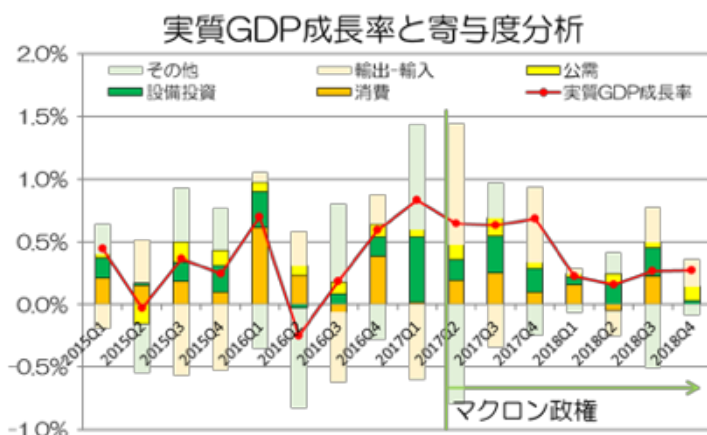
一方で、これらの対策に必要な財源は100億ユーロ(1.3兆円)とされ、(ア)本年1月に予定されていた法人税率引下げ(33.33%→31%)を売上高2.5億ユーロ超の大企業について1年延期、(イ)電子サービスを提供し一定規模の売上高のある企業(大規模インターネット企業)への売上高課税の本年1月からの実施といった財源確保案が政府から表明されていましたが、3月6日になって法案が議会に提出されました。また、これらの財源では到底100億ユーロは賄えず、結局2019年の財政赤字対GDP比は当初想定していた2.8%から3.2%に悪化する見込みです。ただし、「競争力と雇用のための税額控除の社会保険料軽減への転換」(CICE)により2018年分税額控除と2019年分社会保険料軽減が2019年に集中する単年度の特典要因(=0.9%分の財政悪化)があるため、「実質的な財政赤字は2.3%」で欧州の3%基準を満たすと政府は説明しています。

### ■ 2019年経済への影響

2017年5月のマクロン政権発足後、成長率は高めで推移していましたが、2018年に入り成長率は鈍化、第3四半期には設備投資・消費に回復が見られたものの第4四半期は設備投資・消費も低調となり、「黄色ベスト運動」が少なからず影響を与えたものと見られます(図表参照)。

こうした中で、2019年のフランス経済では、いかに「黄色ベスト運動」の影響を脱し、設備投資や消費といった内需の回復で成長をけん引していくかがポイントです。また、昨年末に法律が成立した経済社会緊急対策が経済にどの程度ポジティブな影響をもたらすかもよく見ていく必要があります。もちろん、欧州経済ではイタリア経済・ドイツ経済の鈍化や3月末のBrexitのインパクト、世界経済では中国経済の成長率の鈍化の影響もあり、予断を許しません。また、国民の購買力向上や社会不安解消のためにも、失業率の低下は重要です。2018年第4四半期には久々に失業率が低下しましたが、一過性の動きなのか、さらに失業率が下がるのかについても注意してみていく必要があると思います。

(注)文中意見にわたる部分は筆者の個人的な見解であり、筆者の属する組織の見解ではありません。



### 著者紹介

有利 浩一郎 在フランス日本国大使館参事官(財務省出身)。1998年から2000年までパリ第二大学留学。財務省主計局、主税局、国際局などの勤務を経て、2015年からOECD代表部参事官、2017年から現職。

**通 NIPPON EXPRESS**

引越し  
は日通

- 日本人による親切、丁寧な事前見積
- 引越書類の作成も日本人スタッフがサポートさせていただきます
- 集荷から配達まで一貫輸送サービスを展開しております

引越説明会日程: 4月18日(木) 10時30分~12時30分  
会場: とらや  
10 rue Saint-Florentin 75001 Paris  
最寄駅: 地下鉄 ①⑧⑫ Concorde  
定員: 12名  
備考: お茶とお菓子付き / とらやのお菓子お土産付き

日本はもちろん、他の国やフランス国内のお引越しもお気軽に相談ください

お引越し専用ダイヤル (日本語でどうぞ)

01 41 84 63 50

Eメール: nittsu.paris@neur.com

HP: www.nipponexpress.com/moving/fr/  
(HP内 お問い合わせフォームございます)

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2019年3月10日～2019年5月10日)

入館案内  
開館日：毎週火曜日～土曜日（日、月曜日、祝祭日は休館）  
開館時間：12時～20時、図書館は12時～18時（木曜日のみ12時～20時）  
※当館は、12月28日～1月3日は閉館となります。

【展示】  
\*展示は別途表記のないものはすべて展示ホール（2階）で開催（火～土、12時～20時）、入場無料

「藤田嗣治：生涯の作品 (1886-1968)」展  
会期：1月16日（水）～3月16日（土）  
主催：国際交流基金、京都国立近代美術館  
入場料：7€（一般）、5€（割引）、無料（MCJP会員）  
内容：中南米からアジア、日本への旅。そして戦地へ……。パリに輝き、パリに没したフジタの知られざる時期の作品を中心に紹介。  
藤田嗣治は若くしてパリに渡り、ここでエコール・ド・パリの芸術家として高い評価を得ました。三度にわたる彼のパリ滞在(1913-1931、1939-1940、1950-1968)中には、藤田にとって重要な出来事がいくつも起きています。個展の成功、フランスへの帰化、カトリックへの改宗などです。  
本展では、藤田がパリに渡った1913年からパリを離れる1931年までの作品、中南米を旅し日本に戻り、東京を起点に日本各地や中国から東南アジアまで足を延ばした1930-40年代の作品、さらには戦後、終の棲家と定めることになるフランスへのオマージュとして制作された作品を紹介します。フランスで最も知られているのは最初のパリ滞在時に制作されたものですが、これまで紹介されることが少なかった1930-40年代の作品はほとんど知られていません。60年に及ぶ藤田の創造活動を総括し、藤田にとって第二の故郷であるパリで日本を中心に各地から集められた作品を展示する貴重な機会となる展覧会です。

「大津絵：日本の庶民絵画」展  
会期：4月24日（水）～6月15日（土）  
主催：パリ日本文化会館、大津市歴史博物館  
会場：パリ日本文化会館 地上階ホール  
入場料：5€（一般）、3€（割引）、無料（MCJP会員）  
内容：日本の代表的な庶民絵画である大津絵についてのヨーロッパで初の大規模な展覧会です。大津絵は、江戸初期から明治時代にかけて、東海道を往来する旅人の土産物として人気を集めました。初期は庶民の日常的な需要に応えた仏画が中心でしたが、次第に人間のおごりや愚かさへの風刺などを盛り込んだ戯画や教訓絵へと変容していきました。浮世絵師たちも魅了され、江戸末期には、歌川国芳や河鍋暁斎などが浮世絵に大津絵の画題を取り入れたり、見立てたりして、そのユーモラスな精神を継承しています。しかし、大津絵は、世界的に市民権を得ている浮世絵に比べると海外ではほとんど知られていません。今回の展覧会は、日本及びヨーロッパの所蔵品から選りすぐった約110点、江戸時代の古大津絵の名品を初め、大津絵の影響を受けた浮世絵や肉筆画、木彫、挿絵本等のほか、ピカソ旧蔵品や、ミロが1950年にバルセロナの民芸展で注目した大津絵などを展示するコーナーも設け、大津絵という日本美術の重要で未知の側面を紹介します。

いけばな展示  
会期：4月2日～6日  
会場：地上階エントランスホール  
入場料：無料、入場自由

【公演】  
コンサート「菅野潤（ピアノ）、山形由美（フルート）、常磐津文字兵衛（三味線）」  
日時：4月3日（水）20時～  
会場：大ホール  
入場料：15ユーロ（一般）、13ユーロ（割引）、11ユーロ（会員）  
内容：洋楽器（ピアノ、フルート）と和楽器（三味線）による異色のトリオ・コンサート。昨年4月に、東京で最初のコンサートを開催した後、今回はスペインとフランスにてツアーを行う。ソロ、デュオ、そしてトリオの編成で、ドビュッシーやリストなどのクラシック曲から、常磐津文字兵衛自身による曲まで、多様な楽曲を披露。

ミニコンサート「須川展也（サクソ）」  
日時：4月18日（木）19時～  
会場：小ホール 入場料：10ユーロ  
内容：東京藝術大学を卒業後、様々な賞を受賞しながら、クラシック・サクソフォンの分野で若者たちの目標的な存在の第一人者となった須川展也。年間100以上のコンサートを行い、多くのオーケストラとの共演も果たすなど、世界的な評価を得ている須川のサクソスをぜひお聞き逃しなく。

【映画】  
「日本映画の100年『現代監督特集』」  
日時：2月6日（水）～3月19日（火）  
会場：小ホール 参加費：5€  
内容：今活躍中の監督の作品を紹介。2018年に公開される最新作も数本含め、現在の日本映画界を牽引する巨匠から若手監督までの作品37本で、日本映画の今を伝えます。

「指圧」  
日時：4月12日（金）18時半～20時半  
会場：小ホール 参加費：無料・予約制  
内容：11日に実施するシンポジウムの関連事業として、指圧のドキュメンタリーを上映。映画制作側、指圧の専門家によるアフタートークも実施。仏語事業。

【講演会・セミナー・シンポジウム】  
指圧シンポジウム  
日時：4月11日18時半～20時半  
会場：小ホール 入場料：予約制・無料  
内容：指圧の歴史や効用に関して、日仏の専門家が発表・ディスカッションを行います。仏語シンポジウム。

- 「大津絵展覧会オープニング記念シンポジウム」  
日時：4月23日（火）18時～20時  
会場：小ホール 入場料：無料・予約制  
内容：4月24日から開催する大津絵展覧会のオープニングを記念し、コミッショナー、専門家によるシンポジウムを実施。日仏語同時通訳付。
- 「山海塾をお招きして」（実施予定）  
日時：4月未予定  
会場：小ホール 入場料：無料・予約制
- 【ワークショップ、他】  
「和菓子カフェ」  
日時：3月16日（土） 13時～売り切れまで（最長19時まで）  
会場：レセプションホール  
参加費：お菓子/お抹茶代（お土産のお菓子付）10€  
予約無し
- 「指圧体験」  
日時：4月13日（土）14時、14時45分、15時半、16時15分、17時、17時45分  
会場：レセプションホール  
入場料：7€  
内容：椅子に座った状態で指圧を体験できます。指圧の効用を体で感じてみましょう。仏語事業。
- 子ども事業「貝合わせ」  
日時：4月25日（木）及び26日（金）、13時半～14時半及び15時～16時  
会場：教室2 入場料：5€  
内容：折り紙で貝を作ります。そして、貝合わせ遊びでフランス語と日本語の対を見つけてみましょう！仏語事業。
- 子ども・親子事業「粘土で作ろう」  
日時：4月27日（土）及び30日（火）14時～15時半及び16時～17時半  
会場：教室2 入場料：并当8ユーロ、風鈴10€  
内容：超軽樹脂粘土でお花見弁当（14時）と風鈴（16時）を作ります。日本語事業、仏語逐次通訳付き。
- 子ども・親子事業「ガンブラを組み立てよう！」  
日時：5月2日（木）14時～15時及び16時～17時  
会場：レセプションホール 入場料：2€  
内容：ガンダムのプラモデル、ガンブラを組み立てよう！仏語事業。
- 子ども・大人向け「剣術ワークショップ」  
日時：5月3日（金）及び4日（土）  
会場：大ホール 入場料：15€  
内容：柔軟で流れるような剣術の動きを武道のプロである松浦真人氏が、木刀を使って剣術の基礎をお教えます。第1セッション子ども向け（3日15時半～17時、4日14時～15時半）、第2セッション大人向け（3日18時～19時半、4日16時半～18時半）。仏語事業。
- 子ども事業「Global Kids Day - 鯉のぼりを作ろう！」  
日時：5月4日（土）14時～16時半  
会場：レセプションホール 参加費：8€  
内容：4歳～10歳対象。デジタルファブリケーション技術を使った鯉のぼり作りワークショップ。日本の子どもたちが作ったデザインを使って鯉のぼりをデザイン、制作します。また、本ワークショップ参加の子どもたちも自分たちで絵や模様絵を描き、それをデータ化し、シールに加工したり、今度は日本の子どもたちが次のワークショップで使えるデザインを作ってあげたり、子ども日仏交流を図ります。制作した鯉のぼりはお待ち帰りでできます。
- 【囲碁教室】  
開催日（土曜日）：3月16日・23日、4月13日・20日・27日、5月4日  
＜上級＞14時半～16時 ＜全レベル＞16時～17時半  
受講料：10回コースに対し50€、MCJP会員及び18歳以下割引35€
- 【裏千家茶道-茶の湯】  
開催日：1月16日～6月28日まで毎週水曜日（祝日を除く）  
参加費：一律7€
- 【裏千家茶道教室】  
開催日（水曜日）：3月27日までの水曜日、17時半コース及び18時15分コース  
受講料：8回コースに対し88€、MCJP会員割引76€、学生（26歳以下）割引64€
- 【表千家茶道-茶の湯】  
開催日（土曜日）：4月27日  
参加費：10€
- 【表千家茶道教室一立礼】  
開催日（火曜日）：3月26日までの火曜日、4月23日～6月26日までの火曜日  
17時半～19時半 受講料：10回コースに対し130€
- 【生花教室】  
小原流：火曜日 初級12時半～14時、  
中級14時半～16時：3月12日・19日、4月16日  
草月流：木曜日 初級13時～14時半、  
中級15時～16時半：3月14日・21日、4月11日・18日、5月9日  
池坊流：水曜日 初級及び中級18時～19時半：3月13日・20日、4月17日
- 【書道教室】  
開催日（木曜日・かな中心コース）：1月24日～3月28日（ただし2月28日・3月7日は除く）、春期は5月9日から開始。  
18時～19時半 受講料：8回コースに対し160€  
開催日（金曜日・漢字中心コース）：3月1日～29日18時～20時、春期は5月10日から開始。  
受講料：5回コースに対し130€



## &lt;パリ日仏文化会館事業案内つづき&gt;

## 【折り紙アトリエ】

開催日(水曜日): 4月24日  
7歳以下: 15時~15時45分、3€  
8歳以上及び大人: 16時~17時半、6€

## 【日本文化体験アトリエ】

日本文化を垣間見ることができる体験アトリエです。お道具は全て貸し出し制です。  
※登録権利は各分野一回のみとなります。

・いけばな  
開催日(土曜日): 3月16日・23日・30日 16時~17時半  
受講料: 60€/3セッション1コース

■日本語事業部では、フランスの日本語学習者、日本語教師の方、そして広く日本語教育に関心をお持ちの方々にご参加いただける、さまざまな日本語教育事業を行っています。

## 【お問い合わせ先】

教師相談: nihongo.contact@mcjp.fr 日本語講座: koza@mcjp.fr

## 【日本語教師向け情報】

下記「日本語教師向け情報」ページに、会館日本語事業について最新情報を掲載しております。ご活用いただければ幸いです。

<https://sites.google.com/site/nihongomcjp/>

## 【教師相談】

教授法、教材、教室活動等、日本語教師が抱える問題点について個別相談に応じます。メールでのご相談も受け付けています。対応可能な範囲で随時(希望日の1週間前までに当館日本語サイト「日本語教師向け情報」ページからお問い合わせください) 料金: 無料、要予約

## 【日本語講座】

当講座は、国際交流基金が開発した日本語教材『まるごと 日本のことばと文化』シリーズを使用する、JF日本語教育スタンダードに準拠した講座です。教材や関連資料についての詳しい情報は下記サイトをご参照ください。

<https://www.marugoto.org/>

国際交流基金関西国際センターでは、日本語eラーニングや学習者コミュニティなどが利用できるサイト「みなと」(<https://minato-jf.jp/>)を開発しており、「まるごと」をオンラインで学習できるコース(A1~A2.2レベルが開講中)を始め、ひらがな・カタカナのコース、まんがや俳句をテーマにしたコースなど、多彩な日本語オンラインコースを開講中です。「まるごと」オンラインコース(レベルA1・入門)はフランス語版も開講しています。お好きな時間にお好きな場所で学べる自習コースです。初めて日本語を習う知人・友人の方にぜひご紹介ください。詳細や登録方法については以下をご覧ください。

[https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne\\_1](https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne_1)

## 【日本語しゃべるん】

当講座では、受講生が日本語で会話してみるイベント「日本語しゃべるん」を定期的で開催しており、会話相手のボランティアを募集致します。今回は1月19日(土)16時30分~18時30分の予定です。詳細は決定次第、次回日本人会会報、当館ホールや図書館に設置するチラシ等にてご案内致します。お問い合わせは日本語講座まで。

<パリ日本文化会館の催しに関するお問い合わせ>

問合せ: TEL 01 44 37 95 01 FAX 01 44 37 95 15

所在地: 101 bis, quai Branly, 75015 Paris

<http://www.mcjp.fr/>

## &lt;パリ日本文化会館の催しに関するお問い合わせ&gt;

問合せ: TEL 01 44 37 95 01 FAX 01 44 37 95 15

所在地: 101 bis, quai Branly, 75015 Paris

<http://www.mcjp.fr/>

\*日本人会発行のAMICJカードの提示でMCJP会員価格の適用が受けられます。

## ヨーロッパでの和紙にまつわるお話 &lt;7&gt;

## ~ブルーストの水中花と通草紙~

坂本昭二(龍谷大学/Centre de Recherche sur la Conservation)

19世紀から20世紀初頭にかけてのジャポニズムの影響はフランスの小説家マルセル・ブルースト(1871-1922)の作品の中にも見てとることができます。彼の小説『失われた時を求めて』の第1篇「スワン家の方へ」の中に、語り手が紅茶に浸したプチットマドレーヌを食べた瞬間、幼少時代休暇中に滞在していた田舎町コンブレー(イリエがモデルの架空の町でしたが、この小説のおかげでブルースト誕生100周年の1971年にイリエ・コンブレー(Illiers-Combray)と町の名前が変更されました)で経験した味覚を思い出し、さらに町の美しい光景の記憶までもが鮮やかに甦っていく様子を日本の水中花が水の入ったガラスの中で鮮やかに広がっていく様に例えて表現しています。ちなみにブルーストが水中花を知ったのは、1904年に友人である作曲家レイナルド・アーンのとこのマリー・ノードリッガーが彼に水中花を贈ったことによります。

この水中花とはいったいどんなものだったのでしょうか?もとは中国から日本に伝来したと言われており、日本では江戸時代には存在していました。ブルーストが小さな紙切れと表現した水中花をガラスや盃の水やお酒に入れると吸水したその紙切れのようなものはだんだんと広がっていき最後には作り物ですがカラフルな花、魚、鳥、家、人などを形作って現れるという玩具の一種で、夏の季語にもなっているくらいですから当時はポピュラーなものだったようです。

では、水中花はどのようにして作られていたのでしょうか?現在では見かけることがなくなった水中花ですが、和歌山の女性が唯一現在も水中花を作り続けておられます。但し、ブルーストが小さな紙切れと表現したような古いタイプの水中花ではないようです。水中花を作るには山吹の茎や和紙、通草紙などが使われていたようで、古いタイプの水中花の製法は失われてしまっています。材料の一つである通草紙は厳密には紙ではなく、カミヤツデという植物の髄(芯の部分)を桂剥きの要領で紙のような薄いシートに加工したもので、日本が台湾を統治していた時代(1895-1945)に台湾の伝統工芸産業として通草紙の生産が盛んに行われていました。しかし、現在は原料となるカミヤツデが台湾の天然記念物となりほとんど生産されていません。当時の通草紙は水中花を作るためだけに生産されていたわけではなく、通常の紙のように絵を描くためにも使われており、通草紙に描かれた中国絵画がシノワズリーの影響でフランスにも多数残っています。

## 健康と美・ウォーキングレッスン 2019年(第3金曜日 14h00-15h00)

「姿勢を整え歩くことは、健康と美しさに繋がります」

「日本人は歩き方が下手」と言われていますが、ご存知ですか?

気が付かないうちに、前かがみや猫背になり、腰痛の原因にもなっています。普段の姿勢や歩き方を正していくことは、とても難しいです。少しずつ、見直して、「変えようという意識」が大切です。

「良い姿勢」や「綺麗な歩き方」は、年齢や性別にとらわれない「美」ではないでしょうか? 将来の健康維持のためにも「正しい姿勢と歩き方」をぜひ会得してください。

日程(毎月第3金曜日): 4月19日、5月17日、6月21日

時間: 14h00-15h00

テーマ: 基本の姿勢、綺麗な歩き方を身体で覚える

内容: ストレッチ等による基本姿勢の保ち方、普段の歩き方で気を付ける点など、日常に役立つレッスン

参加費: 1回 25€ 回数券5回 120€(会員のみ)

会場: 日本人会(もしくは、C3B 15区を予定)

定員: 3~8人(男女年齢は問いません)

参加お申込み、お支払い: 日本人会 Tel. 01 47 23 33 58

レッスン日の7日前までにお願ひします。(\*小切手払いの場合の宛名はAARJF) お支払い後の返金はいたし兼ねますので、後日、他のレッスン日にご参加ください。

講師プロフィール:

北 幸子(きた さちこ) モデル、コーチ、

元パリコレ等ファッションショーモデル

所属: Masters Models (Paris)

<http://www.mastersmodels.com>

Oasis Styling (Tokyo)

<http://www.oasisstyling.com>

持ち物: 靴を脱いでのレッスンを行いますので、ソックス等をお持ちください。

注意: ストレッチ等も行いますので、出来れば動きやすい服装が好ましいです。

健康については、自己責任でご参加ください。身体の歪み等、問題がある方は、プライベートレッスンをお勧めいたします。

詳細、その他は、お気軽に: [facustudio@gmail.com](mailto:facustudio@gmail.com)

上記に記されたレッスン料は、日本人会会員の為で、会場費、手数料を含みます。個人または、グループでレッスンをお考えの方は、曜日、時間、他会場、ご自宅等、ご相談に応じます。

プロまたは、プロを目指す方のレッスン、エージェント所属等ご相談、対応可能です。

※受講者は日本人会会員に限ります。(すぐに入会できます)





より正確に、より易しく、より詳しく！  
各種トラブルに専門家が答える

滞在相談室からの報告：

## VISITEUR滞在、PASSEPORT TALENT (第10項) の規定が改定 (3) =2018年9月10日付改定法から重要ポイントを拾う=

(3) 「少なくともMASTER以上のDIPLOME取得者」の改定

当相談室の利用者にはフランスの大学あるいは同等の教育機関で「少なくともMASTER以上のDIPLOME取得者」(取得見込み、含む)は結構、多いのです。

今回の改定を是非、参考にしてください。

\*

これまでは「少なくともMASTER以上のDIPLOME取得者」には、APS(AUTORISATION PROVISOIRE DE SEJOUR)が発行されていました。有効期限は「1年限定」、更新は不可、APS所持者の労働許可時間は学生滞在(ETUDIAN/ELEVE)と同じく年間964時間上限とされています。APSは「この1年間の滞在中に仕事をさがしなさい」の求職活動期間とされています。そして、月額給与のBRUTがSMICの1.5倍(現行数字は約2281.82ユーロ)のCONTRAT DE TRAVAILを提示できれば滞在身分SALARIEへの変更が認められています。

また、2016年11月スタートの外国人滞在管理法(CESEDA)の大幅改定で、以下の規定が加わっています。

「月額給与がSMICの2倍(現行数字は36509.20ユーロ)ベースのCONTRAT DE TRAVAILであれば、「PASSEPORT TALENT(以下PT)の1°」(PTの第1項)が適用され、「滞在許可証「PT SALARIE QUALIFIE」が発行される」という規定です。

さて、2018年9月10日付改定法です。但し2019年3月1日付施行とあります。

①滞在許可証「RECHERCHE D'EMPLOI OU CREATION D'ENTREPRISE」が発行される。

「求職中もしくは起業準備中」という滞在身分です。滞在許可期間は「1年限定」、更新は不可。

②これまで、APS滞在から「PROFESSION LIBERALE (PL)」あるいは「MICRO (AUTO)ENTREPRENEUR—PL」への身分変更を認める・認めないが今一つ不明瞭でした。

{APS滞在からはSALARIEへの変更のみ可能}とするPREFECTUREも少なくありません。今回の改定でCREATION D'ENTREPRISE(起業)が明瞭になりました。外国人滞在管理法(CESEDA)のL313-10-3°への変更を認めることが明記されています。L313-10-3°とは、滞在許可証の滞在身分「ENTREPRENEUR/ PROFESSION LIBERALE」です。

③PT—4°(PTの第4項)のCHERCHEUR(研究者)が、大学等の受け入れ教育・研究機関とのCONVENTION(受け入れ協定)を終了し、次の受け入れ先をさがす場合も、上記①の滞在許可証が発行される、としています。

④「少なくともMASTER以上のDIPLOME取得者」で、そのままフランス国外に去った場合は、DIPLOME取得年度から起算して最長4年以内であれば、フランスに戻ることが認められ、上記①の滞在許可証が発行される、とあります。(以下、次号)

文責 滞在相談室 担当 岡本宏嗣

### Plafond de Sécurité Sociale, SMIC, MG

●Sécu (2019年1月1日-12月31日) 月額：3377 年額：40524

●SMIC 時給：10.03 月額：1521.22 (brut/週35h労働)

●MG 3.62 \*単位はユーロ

### 第18回 所得申告説明会のお知らせ

フランスでは、1年間(1月-12月)の所得を、翌年5月中旬締め切りで申告します。2018年1月-12月の1年間の収入を2019年5月中旬(インターネット)での申告は6月上旬)締め切りで申告しなければなりません。

2019年1月から源泉徴収方式(PRELEVEMENT A LA SOURCE)がスタートしています。また、2018年度は無税年(UNE ANNEE BLANCHE)とされていますが、所得申告は必要です。源泉徴収方式(PRELEVEMENT A LA SOURCE)の実施によって所得税の支払い方法は変わりましたが、課税の仕組みは変わっていません。今回初めて申告される方、申告経験はあるものの、より正確に知りたい方は是非ご参加ください。

日時：5月4日(土) 15h00 - 17h30 頃

(変更の場合はお知らせします)

会場：日本人会

9 Avenue Marceau 75116 PARIS

参加資格：当会会員

参加費(配付資料代)：20ユーロ

要予約 TEL: 01 4723 3358 FAX: 01 4723 0576 Eメール: nihonjinkai@free.fr

\*

所得申告の用紙の種類、記入の仕方、税額の算出など、ケース別(SALARIE/ VISITEUR/ ETUDIANT / BNC・PROFESSION LIBERALE・AUTO-ENTREPRENEUR)に説明します。

この説明会に参加した上で、なお個別事情のある方は個別相談に応じます。個別相談の予約は説明会終了後に受け付けます。

\*

所得申告をする=所得税を取られる、は必ずしも正確な理解ではありません。

申告の仕組みをよくつかんで適切に対処する必要があります。滞在許可証の更新、滞在身分の変更、10年カードの申請・取得などにも直接関係してきます。フランスに長・中期滞在を予定している方に参加をお勧めします。

滞在相談室 岡本宏嗣

『東大塾 これからの日本の人口と社会』  
白波瀬佐和子 編  
東京大学出版会 刊

新刊案内、アトリエやイベント情報は  
@JunkuFr

営業時間 10時~20時 月~土

Librairie japonaise JUNKUDO  
18 rue des Pyramides  
75001 Paris France  
Tel: 01 42 60 89 12  
Mail: contact@junku.fr

東大塾  
これからの日本の人口と社会

おすすめ  
医師に「運動しなさい」と言われたら最初に読む本

中野 ジェームズ修一 著  
日経BP社 刊

## 文化教養学園幼稚園パリ分園

1981年開園。日仏の文化にふれながら豊かな情操を養います。  
3年保育。2才児特別クラス。  
水曜クラス。各種幼児教室も併設。

10 Rue du Bouquet de Longchamp 75116 Paris  
TEL.FAX 01 4553-7895

お問い合わせは雁金まで

<http://www.bounkakyoyoparis.com/>



## 日本人会活動案内 -各種相談室・講座・活動-

## 各種相談(会員のみ)

\*要予約(電話に限る): **01.47.23.33.58**

## 法律相談(フランスの法律問題)(相談料5ユーロ\*)

3月16日(土) 15h~。ラメール弁護士が担当。法律上のトラブルを抱えている方は、必ず関係書類を持参ください。相談内容は職業上の守秘義務により厳守されます。予約は相談日の1ヶ月前から受け付けます。

## 法人相談(当会法人会員のみを対象)

上記の法律相談時に、法人業務に関する法律上のアドバイスを受けることができます。

## 滞在相談

3月14日(木)、3月26日(火)、4月11日(木)

滞在・労働・商業の3許可、自由職業(PL)、滞在身分の変更、SECURITE SOCIALE、フランスの年金/日仏社会保障協定など各種ジャンルの相談に応じます(関連書類がある場合は必ずご持参ください)。

## 健康相談(予約は2週間前までに)

お問い合わせください。日本語の堪能なDOUIEB医師(内科・産科)担当。

## 保険相談

4月2日(火)

住宅・自動車から疾病・老齢保険まで専門家があらゆる相談に応じます。毎月第1火曜日

## 無料メンタル・カウンセリング

毎月第3金曜日10h~17h

場所: 邦人医療相談室 59, Bd. Victor 75015 Paris

担当: 太田博昭医師(精神科)

カウンセリング希望の方は直接TEL:01-4533-2783に予約を入れてください。なお上記の日時以外のカウンセリングは有料です。

## 日本人会子ども発達相談室

子どもの発達に関する相談に応じます。

相談日: 毎月第1・第3土曜日 9h30~12h00 会場: 日本人会

相談員: 認定心理士 折口志都、臨床心理士 関口弥希. kodomo.fr@gmail.com

## クラブ活動

## ふらんす俳句会

毎月第2日曜日14hより定例会、パリ国際大学都市「日本館」にて。有季定型を基調に句作の楽しみを味わっています。1回目の見学無料。

連絡: 橋本 勝義 メール: yamatobito\_motokatsu@yahoo.co.jp

## 子ども図書館

読み聞かせ 毎週水曜日15h~17h。日本語児童図書の貸出・返却は随時。入会金2ユーロ

## S.O.S.ママクラブに入会しませんか?

母親間の親睦を図る相互託児システムのクラブ。入会申込書は日本人会へご請求ください。TEL 01-47-23-33-58

## 女声コーラス「みもざ」

仲間とハモって、楽しいひとときをすごしませんか。

日本の歌、ミザ曲など。毎週火曜日14h~16h30, Centre Catholique Japonais de Paris / 4 bd Edgar Quinet 75014 Paris にて。frmimosa.exblog.jpを参考に。

連絡TEL 06-76-41-79-61(長谷川)、メール:mimosafraunce@gmail.com

## 日本人会アーティストクラブ(NAC)

日本人会会員の美術系アーティストのクラブ。年会費16ユーロ。NAC月例親睦会 毎月第1木曜日18h~20h。飲み物代各自負担。詳細は日本人会までお問い合わせください。

## マロニエの会

毎月第2火曜日15h~18h茶話会、第3日曜日&第4水曜日14h30~国際大学都市「日本館」で月例会。会報を年3回送付。年会費15ユーロ。連絡TEL: 01-46-58-57-99(安本) 01-49-15-08-73(二口)

## ソフトボール大会

春秋の年2大会あり。年齢・性別・国籍に関係なく、個人またはチームでの参加可。

連絡実行委員長 代理 橋本 勝義 TEL: 06-14-73-37-31

## キッズテニス

ARJ16 Tennis Club (Stade Henry de Montherlant パリ16区)

毎週月、火、金曜日 小学生から高校生まで11クラス

毎週木曜日マクラス 2クラス

お問い合わせ amicalejaponaistc@yahoo.fr

## 各種講座

## 書道同好会

毎週木曜日の16h~17h30 参加費: 月20ユーロ 代表: MARTIN安本年子

TEL: 01-46-58-57-99 国際大学都市「日本館」で15h30~17h30

## くもん日本人会教室

水曜日14h30~17h40 土曜日10h30~15h00 詳細はTEL: 06-5252-2801(石川)

## パソコン教室

連絡先: シュークルキューブ テクノロジーズ 担当: 佐藤 TEL:01-45-20-86-81

FAX:09-59-81-59-63 メール:education@sucrecube.fr

http://www.sucrecube.fr

## パリきものレッスン 入門コース

毎月第2・4 土曜日15h00-18h00、40ユーロ/回。

着物の着装を初めての方から楽しく学べるコースです。

講師: 山田美佳 問合・予約 Tel: 06 82 68 87 35 mika.france@icloud.com

於 日本人会、定員4名、HP www.paris-sodo.com

お持ちいただくもの: 1.肌襦袢 2.長襦袢 3.腰紐(4本) 4.衿芯 5.伊達締(2本) 6.着物 7.襟留め 8.コーリンベルト 9.帯 10.帯板 11.帯枕 12.帯揚げ 13.帯締め 14.足袋 15.タオル(2枚)

※着物や帯・小物などの貸与可

## シャンソンDidier教室

第2・4土曜日16h15~17h45

場所: パリ国際大学都市・日本館

住所: 7, Boulevard Jourdan, 75014 Paris

年会費100€ レッスン1回8€ (非会員は15€)

連絡先: ch.tanaka@orange.fr

01 4329 5235 / 06 0383 2674 (田中) 01 4229 1072 (山口)

## 太極拳・気功教室

上・中級クラス 日曜17h~18h 初級クラス日曜18h~19h 会場: 54.rue Emeriau 75015

Paris 参加費: 40ユーロ/月4回。非会員も参加可。但し45ユーロ/月。太極拳・気功の他に簡単

に見つかる針、マッサージのツボ探し、健康自己管理の知識等も指導。講師/連絡先: ラン光旭

(パリ第6大学医学大学院気功・太極拳講師)

TEL:06-69-43-54-45 メール:rangx@yahoo.co.jp

## 健康と美・ウォーキングレッスン

元パリミラノ東京コレモデル/現役モデルによるウォーキング・写真のポーズ・メイ

キャップ・Before & Afterなどニーズに合わせた個人レッスン。(コース3回会員180

ユーロ・非会員別途料金) 詳細はお問い合わせください。講師: 北幸子 (Master

Models,Oasis Styling) facustudio@gmail.com TEL:06-2296-0655

## フランス語朗読会

参加費: 週1回1時間8ユーロ。1回目は無料。5回を1サイクルとし、2回目までにあと5回分(40ユーロ)をまとめてお支払い。スカイプでの受講も可。(詳細はお問い合わせください) 場所: Place Monge界隈(パリ5区) 時間: 水15h30~16h30上級、金15h~16h中級、金16h15~17h15。

お問い合わせ: ch.tanaka@orange.fr(田中千春)

## 子供のための習字教室

土曜クラス: 毎週土曜12h~13h、13h30~14h30。場所: 日本人会 授業料: 月毎に前納払い(1回15ユーロ)(日本人会会員料金)。入学随時受付。

お問い合わせ: 六藤佳世子 06-22-53-74-18 kayoko94000@yahoo.co.jp

## 日本館茶の湯同好会

場所: 国際大学都市『日本館』

稽古 月3回月曜日14h30~18h30 参加費10ユーロ

茶の湯の会 随時

初心者向稽古 土曜日午後

詳細はメールにてお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。(高木宗悠)

nihonkan.cyanoyu@gmail.com

## 成人学習者向け日本語講座

第2、第5土曜日10h00~12h00 Faux débutantのクラス 会場: 日本人会 問い合

わせ&申し込み: nihongocafe022015@gmail.com

## ヨガ教室

日時: 月曜日10h30~11h30、火曜日10h30~11h30/19h~20h、木曜日16h~

17h 会場: パリ7区 対象者: 全てのレベル 参加費: 要問い合わせ

講師: ラロッシュ・アメリ 問合わせ・申込み: larocheamelie@gmail.com (日仏)

※在仏日本人会法人会員名簿は、インターネット・サイトに掲載されています。

日本人会ホームページの次のリンクをご利用ください。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/about-nihonjinkai/houjin-kaian/>

amicJ協賛店一覧はこちらのサイトを参照ください。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/members-service/amic-j-card/>



日本の企業と個人向けに企業、災害、賠償、  
運輸、医療、その他保険のことなら  
何でもランボーラボロスへどうぞご連絡下さい

91, rue Saint-Lazare 75009 PARIS  
TEL.01.53.32.20.00 まで  
FAX.01.42.85.04.65



## Gilets Jaunes (ジレ・ジョーヌ)



**Michel BRUNEAU**

(ミッシェル・ブリュノー 会友)

当会フランス語講座講師

1978～98年日本に滞在 元上智大学講師

フランスでは昔から全てがシャンソンで始まり、シャンソンで終わると言われています。

1789年のフランス革命は La Marseillaise (ラ・マルセイエーズ)

1870年のパリ・コミュンでは Le Temps des cerises (さくらんぼの実る頃)

1940ー1945年は Le chant des partisans (パルチザンの歌)

Gilets Jaunes の中では二つの歌を選びました。

一つは、皮肉な Les gentils, les méchants (優しい人、悪い人)。もう一つは、より真面目で攻撃的な Les Gueux (貧しい人達) です。一つ目を紹介しましょう。

Les gentils, les méchants (par Marguerite)

Qui c'est qui prend le taxi ? - Les gentils ! タクシーを使うのは誰？ 優しい人。

Et qui paie le carburant ? - Les méchants ! 燃料を払うのは？ 悪い人。

Qui balablate sur LCI \* ? - Les gentils ! テレビでおしゃべりする人は？ 優しい人。

Qui crie sa colère aux champs ? - Les méchants ! 田舎で(シャンゼリゼで) 怒りを叫ぶのは？ 悪い人。

Qui fait de l'économie ? - Les gentils ! 経済やってるのは？ 優しい人。

Qui est à court d'argent ? - Les méchants ! お金が足りないのは？ 悪い人。

C'est l'ENA\*\*, Rothschild\*\*\*, Bercy\*\*\*\* - Les gentils ! それは 行政学院、銀行、経済財務省。優しい人。

C'est les petits commerçants - les méchants ! それは小売の商売人。悪い人。

C'est comme un guignol, spectacle permanent, 人形劇のよう、絶えない見世物、

Et vive les banques, et le parlement ! 銀行バンザイ、国会バンザイ。

Tout le monde en rigole, et plus personne n'y croit ! みんな笑ってる、もう誰も信じない。

Et voilà ! ほらね。

Pour qui t'as de l'antipathie ? - Les gentils ! 好きになれない人って？ 優しい人。

Qui fait 70% ? Les méchants ! 誰が70%支持したの？ 悪い人。

Qui gaze aux bombes lacry ? - Les gentils ! 催涙弾を投げるのは？ 優しい人。

Qui se trouve devant ? - Les méchants ! それを受けるのは？ 悪い人。

Soixante-huitards accomplis - Les gentils ! 68年の学生革命家 優しい人。

Ont peur des pavés maintenant - Des méchants ! 今は悪い人の敷石(暴力)を怖がってる。

Ils veulent l'Europe à tout prix - Les gentils ! どうしてもヨーロッパをつくりたい。優しい人。

Ils veulent nourrir leurs enfants - Les méchants ! 子どもを養いたい。悪い人。

Les gentils méchants 優しい悪い人。

\*LCI : ニュース専門テレビチャンネルのひとつ。

\*\*ENA : Ecole nationale d'administration 国立行政学院(高級官僚養成教育機関)。

\*\*\*ロスチャイルド。金融資本家を代表する一族。ロスチャイルド銀行。

\*\*\*\*ベルシー。Ministère de l'économie et des finances のある場所。

以下の点を指摘しておきたいと思います。

1) Gilets Jaunesのデモの理由は、エリートの傲慢、侮蔑的振舞いにあります。

2) Les casseurs : 破壊する人。

2月9日、Thomas P. は、警察に知られている25歳のアナーキストで、いくつかの銀行を壊し、車を壊し、最後に警察の自動車に放火して燃やしてしまいました。けれども、警察は彼の行動を追いながら止めたりはしませんでした。何故でしょう。

3) Gilets Jaunesのデモのなかで何千人もの怪我人が出ています。そのうち100名が重症。特に顔、12名ほどが失明しています。

4) これほどの警察の暴力は初めてです。

フランスの警察はLBD (Lanceur de Balles de Défense)という新型のフラッシュ=ボールを使っています。本来顔を狙うことは禁止されていて、ヨーロッパの他の国ではLBDは使われておりません。危険すぎるからです。

◇YouTubeでご覧ください。

- Yves Montand : Le temps des cerises / Le chant des partisans - Marguerite : Les gentils, les méchants - Les gueux



優勝：白岩和世・鳥井悦子組

2018年ママクラストーナメントを、11月8日に開催しました。

お天気に恵まれ2時間の総当り戦、初心者クラスから始めて、初めて試合を経験する方が今年2名おりました。

緊張されていたようですが、ベテランパートナーのアドバイスを受けながら大健闘でした。

最後の試合が終わり、緊張感から涙ぐむ方もいらっしゃいました。テニス、そしてゲームの楽しさを感じてモチベーションも上がった事でしょう。

今年のママクラスの参加賞は、シャンパンアペリティフでした。

\*今まで2クラスだったママクラス、一般クラスが4クラスになり頑張っています。

ママクラス、一般クラスは、いつでも入会可能です。

## キッズテニス新会員募集中

>小学一年生から高校生までのクラス  
月、火、金曜日17時から19時の1時間

>大人一般クラス

火曜日14時から16時の1時間、火曜日19時から1時間の1時間、  
木曜日12時から14時の1時間

場所：Stade Henry de Montherlant 32 Bd Lannes 75016 Paris

お問い合わせ：amicalejaponaistc@yahoo.fr

## FEHRENBACH DRIVING SCHOOL



=外国人向け自動車教習所=  
英語・フランス語・日本語

32年の実績

・フランス自動車免許の取得  
・右側通行運転の実習

53 boulevard Henri Sellier 92150 SURESNES  
Tel. 01 45 06 31 17 (代表) / 06 20 63 75 31 (日本人係)

fehrenbach@frenchlicense.eu  
www.frenchlicense.eu

AmicJカード提示で料金10%引き





## 特別コラム (全3回) YouTube Generation (1)

昨今、携帯電話やパソコンを使ってYouTubeなどで音楽を楽しんでいらっしゃる方も多いと思います。録音されたものを再生して視聴する場合、録音技師やミキサー技術者など、いわゆるサウンドエンジニアと呼ばれる人たちのテクニックの巧拙によって、音楽の印象が大きく変わります。今日はいくつか例をあげて解説してみたいと思います。

YouTube で Tina Turner live in Wembley [https://www.youtube.com/watch?v=LLqJ\\_dczPOg](https://www.youtube.com/watch?v=LLqJ_dczPOg)を聴いてみてください。これは2000年に収録されたものですが、同じ年に録音された Tina Turner – live in Sopot, poland, 15.08.2000 <https://www.youtube.com/watch?v=SlkDque9wnY> と比べてみると、その違いは歴然としています。今から19年前の録音ですが、二つのコンサートはほぼ同じプログラムなので比較し易い、という理由で例に挙げました。

そもそもTina Turnerの声はスタンダードな意味で綺麗、というわけではありません。どちらかというと声も細く、それを隠す意図もあってか、怒鳴ったり、がなったり、わめいたりしながら、パンチを効かせてお客様の耳を魅きつけています。Polandのコンサートの方がTina Turner本来の歌唱力を現わしているのではないかと思います。一方Wembleyのコンサートでは、ミキサー等の機材及び技術の水準が非常に高く、デジタルイコライザーやエフェクター等を駆使し、Tina Turnerのこういった欠点をうまく隠し、良いところをうまく引き立てています。

バックミュージシャンのパフォーマンスに対する音響技術も素晴らしい、それぞれの楽器と歌とのバランスも良くとれています。また、lightingやカメラワーク、モニターも良く出来ていると思います。私としては40:18から始まるProud Mary、特に42:20から始まるアップテンポの部分が気に入っています。

これはデジタルミキサー技術がうまくいっている例ですが、そうでない場合もあります。Ella Fitzgerald Can't buy me love の二つの録音を聞き比べてみてください。これは1964年に録音されたものです。1) Can't buy me love -- Ella Fitzgerald <https://www.youtube.com/watch?v=9ymTwboFgT0>の方は、元の33回転のレコード盤の音にまあまあ近いものですが、2) Ella Fitzgerald Can't buy me love <https://www.youtube.com/watch?v=0068GAAeJRQ>の方はデジタルイコライザーなどでミキサー担当の技術者が相当調整しています。曲の出だしのドラムソロを聞いただけでその差ははっきりと判ります。1)の方は音に深みや温かみが感じられますが、2)の方は音が薄っぺらく、シャリシャリしたメタリックな、ひしゃげたような感じがします。

もし、これらの違いがお手元のパソコンや携帯で感じられないようでしたら、ヘッドフォンを替えてみた方が良いかもしれません。

(著者) ペンネーム: Idéal X バロック、古典派、ロマン派、近代、現代音楽、ポップス、ジャズ、歌謡曲、演歌、民謡、日本の伝統音楽、世界の民族音楽、さらにはアニメ、映画やドラマの音楽など、ジャンルにとらわれず、幅広く音楽を愛し、楽曲を自ら創作し、演奏もするミュージシャンです。



馬文化を通して日本を考える (5)

## 近代日本史； 義和団事件と会津武士・柴中佐の功績

アメリカの時代劇映画の脚色、時代考証は目を覆うものがある。興行収益では成功しているのだが何万人という観覧客はそれを史実だと信じてしまうのが恐ろしい。

北京の55日という活劇映画があった。2万の義和団暴徒から諸国の公使館員を守る為にチャールトン・ヘストン演じるアメリカ人将校が各国の守備兵を指揮し、援軍が到着するまでの55日間北京の城にたてこもり守り通したというストーリーだが、これは嘘。

この攻防戦の采配をとったのは会津武士・柴五郎中佐であった。列強各国の王室、皇室から多くの勲章を得て後に大將まで昇格した。20世紀の半ばまでコロネル柴の名は一番有名な日本人であった。知らないのは今の日本人だけ。これは日本人が悪いのではなく、戦後GHQの指示で、日本軍は悪いことをした、軍人は良くない、という教育がなされ、それにマスコミに煽られ日本人は自虐的になっていたからである。今の靖国問題まで尾を引いている。

日英同盟、そして日露戦争のそもそものきっかけ義和団事件。アヘン戦争後近代化の遅れと政治家の腐敗の為に日清戦争に敗れた清国に列強は更にあくどく利権を求めて進出。鉄道、鉱山などの利権を奪った。土地や職を失った農工民達の心を捉えたのが義和団だった。扶清滅洋(清朝を助けて西洋人を撲滅せよ)を唱え、キリスト教会を焼き討ちし、改宗した清の人々を虐殺しながら数を増し首都北京に迫り公使館を襲った。日本では開国以来、幕府が護衛していたイギリス公使館等を尊皇攘夷を唱え高杉晋作らが放火したが、そんな規模じゃない。清の西太后は4万の義和団兵力を利用し、外国勢力を清から追い出そうと列強に宣戦布告した。北京には独、伊、西、米、英、露、仏、蘭、オーストリア、ベルギー、唯一白人でない有色人種の日本からの公使館があった。公使館員とその家族は全員北京の城へ避難した。各国から護衛の為に送られた守備兵は417名、その中に柴中佐率いる日本兵25名がいた。援軍到着まで薨城を持ち堪えたのが柴中佐の采配である。襲われた公使館を守る兵は4千強。417名以外は殆んど民間人。

援軍についてははいずれも事情があり、救援部隊を送れず、地理的に近い日本に出兵要請が来た。ペリーの黒船来航から50年もたたないうち、懸命に植民地化を免れ独立を守る為に戦って、欧米と同じレベルに至った日本の発展は驚異であった。

さらに、清国に於ける日本の利益を恐れたロシアは日本の出兵に強く反対したが、イギリスが全ての費用を負担すると申し出たので、日本は1万の兵を出した。しかし地理的に近く、敏速な日本軍の援軍が何をモタモタして55日もかかったのだろう。その原因の一つに馬の輸送もあった。その時の大陸に送られた騎馬隊であるが、第55師団の軍馬の行進はバラバラで、移動の際貨車に馬を積むときも馬が大暴れして大失態を演じ、他国軍人達から多に馬鹿にされた。これも前号で記したように、馬の去勢がなされておらず、従順な馬の飼育を知らなかったせいであろう。結果的に1万の兵を送った日本の他8カ国合わせて1万6千の兵で公使館員らの救出を成功させ、義和団を鎮圧した。しかし北京への道のり、列強、特にロシアの行なった略奪・放火・婦女暴行は凄まじいものであった。これも敗者の痛みを知る会津武士・柴中佐の厳令であったが、日本兵はほとんど暴行を行わず、戦闘も勇敢だったため日本に対する列国の評価はますます高まったという。

北京での戦闘を目のあたりにした英国人シンプソンやピーター・フレミングが日本兵の勇敢さを称え日記に残している。イギリス大使マクドナルドは経緯の報告を聞き本国へ伝え、今まで栄光の孤立を保っていたイギリスと貧国・日本の同盟を推し進めるのであった。

義和団事件後、ロシアは満州からなかなか引き揚げなかった。満州からさらに朝鮮半島、中国に勢力を伸ばそうとするロシアを嫌うイギリスと日本は日英同盟を結んだ。外務大臣・小村寿太郎の功績である。もし朝鮮半島がロシアの植民地となれば日本がロシアの植民地にならねない。日本としてはどうしても阻止しなければならないが、財政も軍力も日本の10倍もある大国ロシアが再度の撤退の勧告に耳を貸すはずもなかった、日英同盟の後ろ盾で日露戦争が始まった。

竹本 元一 [www.clubanfaa.com](http://www.clubanfaa.com) takemotomotoichi@yahoo.fr  
電話 06 10 45 89 77 フランス史、アラビア語、フランス語、スペイン語、英語、日本語の授業も行っています。興味がある方は御連絡ください。

『日本における相続・遺言の基礎知識』(桑瀬 登起子)  
は今号は休載、次号掲載となります。



## クーブラン生誕350年・特集2018年

## クーブラン一族について &lt;7&gt;

フランス料理の揺るぎない「正餐」の地位はルイ14世の宮廷饗応に由来します。世界各国政府首脳会談や各種団体理事会の後、交歓を交える正餐のフランス料理は18～19世紀の外交用語も各王室公用語がフランス語ということと同じ意味、ルイ14世がヴェルサイユ宮殿宮廷儀式に則った伝統が残る訳です。イタリア・フィレンツェのメディチ家からフランス王室に輿入れした2人の王妃がイタリア料理のエッセンスとマザランが全国視察に「帝王教育」の一端で幼少のルイを伴い、「旨し邦」を経験させました。ルイは生来「食いしん坊ぶり」と健康体、「人々の胃袋を掴む」利点を頭脳明晰で人心把握と儀礼に絡み合わせました。フランス国土の豊富な食材を贅沢に食卓に並べる豪華さから、寒冷ロシアが「保温」で一品ずつ提供を、優れたシェフたちが「美味保全」と「給仕演出」の利点と兼ね「儀式複雑化」で、王族貴族たちを締め上げたと考えて良いでしょう。芸術同様、食いしん坊なルイは食感も鋭く、「大喰い」と、「一口味わい」でシェフの名誉心を満足させ、お裾分けの「さげ渡し」で廷臣と女官の虚栄も満ちし、「按手礼」同様、「公式晚餐」グラン・クヴェール」を見せる儀式演出の他、日常生活細部の起床、飲料も厳粛な儀式、礼儀作法を煩雑化、儀式づくめに長けたようです。ヴェルサイユ宮殿に居座を与えられたサン・シモン公は晩年のルイ14世に仕え、幼少ルイ15世の摂政諮問会議に加わり、回想録を遺しました。世界各地に美味名物料理は多くありますが、ルイ14世の厳粛儀式化で「正餐」即「フランス料理」となったと言えます。

ルイ14世治世に正餐の基本「オマール海老のビスク」「舌平目のボンファム」があります。

閑話休題。偶然、筆者の母方の祖父(1860-1938)が日本陸軍留学生、駐在武官としてパリにおり、ドリュッシーの2年長年でした。日本陸軍初期はフランス陸軍を範とし、祖父が招待された正餐の席順、メニューは前述の如く、音楽会もイザイエとラウル・ブーニョの二重奏が載っております。2016年、日本史学者Pierre Souyri教授がGallimars出版「Moderne sans être occidental」に通説「ペリー黒船到来が日本の近代化」は間違いだと書かれ、フランス人の日本理解の根拠を物語ります。ラヴェルが亡くなる1年前、1937年に筆者が生まれ、それは1858年、江戸の徳川幕府と日仏修好通商条約が調印、新天皇となられる徳仁殿下がパリにお見えになられた現在に至る160周年とも重なります。未だ、スイリ教授の著作は翻訳されておられません。正確な邦訳、訳者が自分に都合よく翻案されぬことを願っています。

## クーブランのクラヴサン音楽演奏普及を阻むもの。

音楽家を職業とする人たちはクーブランの音楽を理解するために専門的な音楽内容ばかりでなく、オールドルの語義と表題を知らなければなりません。在仏日本人会メンバーの方にはフランス語の原語表題のみで曲想を理解できますが、普通、邦訳表題は誤解を招くでしょう。更に、カタカナフランス語表記は学習者が内容を知らず楽譜から鍵盤を叩くだけとなります。クーブランに直結するドリュッシーの作品は様々な邦訳と多くの演奏家を聴くことでイメージが伝わりますが、クーブランの場合、楽器の違いで理解が難しくなります。ルイ・ディエメはパリ万博でクラヴサンとピアノ両方で演奏会、オールドル全曲をピアノ用楽譜に出版しました。140年後の現在でもこの優れた楽譜は使われています。問題は表題への理解なのです。ブルボン王朝成立後、「フランス文化」への憧れは「フランス風」で世界を席卷します。僅かな相違、ある意味で日本の「おフランス」はカタカナフランス語でモードを支配、中江兆民がフランスの思想家ルソー「社会契約論」を翻訳、正統と異なる自己満足的邦訳、その傾向が文学論や音楽論の内容にも表れ、我々を戸惑わせます。

カタカナで正確な発音に近付ける徒勞、ドリュッシーをドリュッスイ、デュビュッシ・・・。格調高く知識階級の気取りで朝日新聞はスキャンダルのフィギュア審査員の名前をガヤゲで済むものをギュイグウェと書く「煙に巻く」類、アルティキュラسیونも「官僚王」ルイ14世の組織末端で小役人たちが市民苛めに通じ、フランスで学んだ学者たちが日本に帰国後「優越感」を満足させたと思われる。音楽学発展は喜ばしいことですが、先駆者の努力を排除する傾向も似ています。20世紀にランドフスカがモダンチェンバロでバロック鍵盤楽器音楽を再現、解釈と楽器を巡り論争が起きます。論争は学問の発展に不可欠ですが、手段が目的に「古楽器主義者」が「バロック音楽をピアノで演奏不可論」を唱え、低次元な縄張り争いは装飾記号解説、原語表題理解よりクーブランの作品普及を妨げます。(つづく)



左：オマール海老のビスク  
右：舌平目のボンファム

山崎 孝(やまざき たかし) 1937年生まれ。東京藝術大学卒業。ピアニスト。

## グローバル時代のコミュニケーション

～国や文化を超えて真に信頼関係を作るコミュニケーション～

【第11回】

こんにちは！

皆さんいかがお過ごしでしょう？ あっという間にもう3月ですね！

日本はこのところ急に暖かくなり、花粉症の方の悩ましい季節に突入しました。

2019年がスタートしてもう1/6過ぎたわけですね。

もう？まだ？人によっては様々ですが、本当に月日が流れるのは早いですね。

だからこそ計画を立てて、どんどん実行に移す。

この事をスムーズに実践するための手段がCAF：コーチアプローチファシリテーションです。

人間は感情で動くのです。無意識にコントロールされていると言っても過言ではありません。いままでお読みいただいたみなさまには、CAFがこのような人間の本質に根ざしているということをご理解いただいていると思います。さて、今月も始めて行きたいと思います。

前々回の第9回で、コーチングの本質は、相手をコントロールするのではなく、相手を信じ、承認し続けることであるというお話をさせていただきました。会社での部下はもちろん、お母さんお父さんがお子さんのモチベーションを上げ教育指導するときにも全く同じです。

今回は、もう少し踏込んで、コーチングの実際の手法についてお話したいともいます。

人間は自分が行動しているイメージができないと、その行動はとれません。例えば

私は企業で研修するときに「みなさん明日から部下と良いコミュニケーションを取ってくださいね」とお願いしたとします。みなさん「はい」と答えたとします。でもこれだけでは行動には結びつかないのです。

「みなさん明日から部下と良いコミュニケーションを取ってくださいね」とお願いし、

みなさん「はい」と答えたとします。ここまではいっしょ。

更に、

私が「では具体的にはどんな行動をとりますか？」

この質問がコーチングです。

この質問をされると、「えっ そうかコミュニケーションをどう取るのかな・・・」

「あっ、大山さん、こんなのどうでしょうか。」

明日朝いつもより少し早く会社に行って部下の顔ひとりひとり見ながら笑顔でおはよう、おはようと言ってちゃんと挨拶する。これってコミュニケーションの第一歩になりますか？」

大山「いいですね～。ぜひ実行して下さい」

この2つの違いがお分かりになりますでしょうか？

具体的な行動が自分の頭の中にイメージできたとき、初めて行動することができるようになります！

すべての人間は、一度頭のなかで実際の行動をイメージしてから行動を起こしています。

経験豊富な人間は、慣れた仕事は考えることなく即座に手順をイメージしています。イメージできるのです。

しかしながら経験の少ない人間は、うまく行っているイメージがなかなか出来ない事が多い。だから実際の行動が起こらないのです。子供も一緒です。

ですからコーチングは、ひとことで言うと、

相手の頭の中にうまく行っているイメージを起こしてもらう。

このための質問をする。このことにつきます。

具体的には何を？ うまく行っているには自分は何をしたらいいのかな？

このような質問でコーチができるのです。

2019年はまだスタートしたばかりです。

2019年がとてうまく行ったという具体的なイメージを一度じっくり感じてみてください。

きっと何から手を付けるかが見えてくるはずです。

次回以降この頭のなかでうまく行っているイメージをどのようにしてコーチングで喚起していくかについてお話したいと思います。

大山裕之 コンティニュー株式会社 代表取締役社長  
社団法人コーチアプローチファシリテーター連盟 理事長  
国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチ



## 場所と

## 人の出会い

## 【20】

Chaussée Jules César  
「カエサル街道」

ローマ街道の一部(著者撮影)

田舎道を歩いていると、ただの砂利道あるいは畑の畦道が真直ぐ伸びていることがある。しばしばこれがローマ街道であることがある。パリ近辺にはChaussée Jules-Césarと呼ばれるローマ街道がヴェクサンにあり、この地方はパリ近郊とは思えないほど長閑な自然が広がっている。現在ではエプト川を隔ててVexin françaisとnormandに分かれているが、先住民ケルトの時代はVélocasse族の一つの領地であった。北方民族の侵略後、ノルマンディー領とフランス王国領(正確にはNeustrie)に分割されてしまう。一般的には「St-Clair sur Epte条約」(911年)

で国境が決められたとされているが、この条約は実際には存在しないという説もある。

川が国境になるのは当然だが、なぜこの町で決められたのか?それは、ここにローマ街道が通っており、川を渡る最後の町であったからだと思われる。10世紀頃はこの「カエサル街道」はまだ十分利用でき、この町がカロリング朝時代の戦略的要所であったことが想像される。

この道はPontoiseから(もちろんパリ(Lutecia)を経て)Rouen、Lillebonneまで続き、このリルボンヌ市から英仏海峡にアクセスできた。リルボンヌ市にはローマ劇場も残っていて、対岸のAzierではローマ時代の港が発掘されている。リルボンヌ自体も港であったと言われているが、河岸からかなり離れている。納得いかないかもしれないが、サテライト画像や航空写真を分析すれば、何世紀にも及ぶ堆積土のせいで河岸から離れてしまったのが解る。ではこの行程は何によって裏付けられているのか?二つの文献をあげることができる。



パリからリボンヌまでの地図 (géoportail compilé par l'auteur)

まずは、Table de Peutinger。一種の道路網早見表のようなもので、16世紀この文献を所有していたオーストリア人古物収集家の名がついている。(現在はウィーン国立図書館所蔵)この早見表は13世紀ころ僧侶によって複写されたものだが、基になるのは2世紀から4世紀にかけて編纂されたローマ帝国の道路網である。当時の宿营地・町・宿駅などが表されている。

表の中に、Lutecia-Rouen-Lillebonneルートを見出すことができる。

Table de Peutinger -道路網早見表  
(Légion VIII Augustaの一部)

もう一つは、1999、2001、2010、2011年に行われた発掘調査。調査レポートによると、中世初期まで何度も補修が行われていたが、中世末期・近世では全く道路としては利用されなくなってしまう。Pontoise-Rouenを繋ぐ新しい幹線道路が敷かれたからである。ちなみに、最初の敷石は西暦1世紀なので、Jules-Césarの名がついているがシーザーの時代でないと言える。

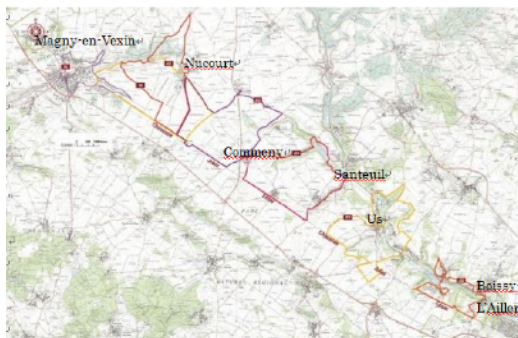


発掘されたローマ街道(著者撮影)

現在では畑の畦道になったり、全く消えてしまった部分もあるが、ポントワーズ近くの町Boissy-l'Aillerie (St-Lazare駅から電車で行ける)から

Magny-en-Vexinあたりまでハイキングコースとして人気がある。古代のローマに思いをはせながら、自然を満喫されるのはいかがでしょうか?

執筆: 横山 八重子  
Yokoyama Yaeko  
(日本語ガイド通訳協会)

ヴェクサンの幾つかのハイキングコース。  
Chaussée Jules Césarと並行しているのが県道14号線 (Topoguides compilé par l'auteur)

フランス俳句会

人類の祖先焚き火し種の起源

ひと息に焚火を消しぬ恋終ふ

星空に手紙散りゆく焚火かな

春の雨調べやさしきシューベルト

アザレアの白に集る春日かな

凍返る屋台の幟のひるがえり

半生を棒にふりしも初日の出

一本の大寒桜ありにけり

年老ひて霜降る道を杖ついて

ばちやばちやと児らははしゃぎて春の泥

悠々とタンカー下る寒の明け



## 春期フランス語講座 1月9日(水)~ 4月2日(火)



月L/火M/水Me/木J/金V/午前-ma/午後-ap 教室: 9, ave Marceau 75116 Paris Tel: 01-4723-3358 e-mail: nihonjinkai@free.fr  
講座実施は各クラス5名以上。体験入学可。【初級クラス新設】

クラス	曜日	時間帯	既習時間	使用テキスト	授業料
LMe-ma ♡	月水	10h00-12h15	まったくの初心者	Grammaire Progressive du Français-Niveau débutant	540€
L-ap ♡	月	12h45-15h00	まったくの初心者	コピー配布教材(日常に役立つフランス語)	270€
LJ-ma ♡	月木	9h45-12h00	63h	Saison 1(Gibert Jeuneにてお求めください)	540€
MJ-ap ♡	火木	12h45-15h00	63h	Saison 1(Gibert Jeuneにてお求めください)	540€
M-ma ☆	火	10h00-12h15	56h15	Grammaire Progressive du Français-Niveau débutant & コピー配布教材	270€
V-ma ◇	金	9h45-12h00	90h	Grammaire Progressive du Français-Niveau débutant	270€
Me-ma ☆	水	9h45-12h00	369h	Grammaire Progressive du Français-Niveau débutant & コピー配布教材	270€
J-ma ☆	木	10h00-12h15	114h45	Grammaire Progressive du Français-Niveau débutant & コピー配布教材	270€
MV-ma ♡	火金	10h00-12h15	166h	コピー配布教材(日常に役立つフランス語 ; 文法、語彙、発音、会話の総合) A2レベル	540€
V-ap #	金	12h45-15h00	229h	Tendances méthode de français A1	270€
Me-ap #	水	13h00-14h45	469h15	Grammaire Progressive du Français-Niveau perfectionnement	210€
会話J # 初級I 58h30既習	木	12h45-15h00	日常会話の発音・聞き取り訓練クラス。		270€
会話M # 全4回	火	12h45-15h00	いろいろな場面設定での日常会話や文章を使って実践的にすぐに利用できる練習と正しい発音の訓練。		100€
会話L ◇ 中級 162h既習	月	13h00-15h15	L 中級, 教材コピー配布 J 初級I, テキスト Communication Progressive du Français-Niveau grand débutant		270€

1) 授業料は一期コース前納制。返済には応じません。支払方法は郵送の場合は小切手のみ。来館払いの場合は現金または小切手。小切手の宛先ordre はAARJF。  
送付宛先: 9 avenue Marceau 75116 Paris 授業開始後、約2週間経過した中途入学に関しては別途料金計算。問い合わせください。問合・申込 TEL 01 4723 3358

2) テキストはGibert Jeune (10 Place Saint Michel 75006 Paris) にて各自お求めください。  
Saison 1=DIDIER社刊行、Grammaire Progressive du Français-Niveau débutant & perfectionnement、Communication Progressive du Français-Niveau grand débutant、Grammaire en dialogue-Niveau grand débutant、Tendances méthode de français A1=CLE INTERNATIONAL社刊行

《日本人の特徴を知り尽くした講師陣による授業》 Mme Florence MEHRVAR (♡クラス担当) M Michel BRUNEAU (☆クラス担当)  
Mme Muriel NAVARRO (◇クラス担当) M Laurent LOYER (#クラス担当)

### 夜間クラス 初級II 月&木 19h-20h30

期間: 1月10日(木)~4月1日(月) 週2回(祭日休) 計24回  
対象: 初級(2018年9月より39h既習)

### 夜間クラス 初級IIIb 金 19h-20h30

期間: 1月11日(金)~3月29日(金) 週1回(祭日休) 計12回  
対象: 準初級(2017年4月より96h既習)

### 夜間クラス 初級IIIa 火&木 19h-20h30

期間: 1月10日(木)~4月2日(火) 週2回(祭日休) 計24回  
対象: 初級(2017年9月より141h既習)

受講料: 初級I、II、IIIa 540€ / 初級IIIb 270€

講師: 初級II&IIIb Laurent LOYER / 初級I&IIIa Muriel NAVARRO

初級II&IIIb: Communication Progressive du Français-grand débutant、初級I&IIIa: コピー配布教材

### フランス語 発音教室

1月15日(火)から3月28日(木)まで 予約不要

対象: フランス語のレベルは問いません。

講師: 火 Mr Laurent LOYER / 木 Mme Florence MEHRVAR

日時: 月・木曜 15h30-16h30

受講料: 1回7€ (現フランス語講座受講者は5€)

### DELTA/DALF 対策 3クラス A2クラス新設! \*実施3名以上

火曜 (B2)、木曜 (B1) 17h15-18h45 (1h30) 各12回

期間: 1月9日(水)~4月2日(火)

対象: A2、B1、B2受験者 テキスト: コピー配布教材

講師: Mme Muriel NAVARRO (DELTA認定官)

受講料: 各270€

途中入学可

無料体験あり

目

次

マロニエの会新年会	1	フランス歴史散歩	8
補習校だより・音読発表会	1	テニス・マクラストーナメント	8
特集・黄色いベスト運動とフランス経済	2-3	キッズテニス会員募集	8
パリ日本文化会館事業案内	4-5	コラム・Youtube Generation (1)	9
ヨーロッパでの和紙にまつわるお話	5	馬文化を通して日本を考える(5)	9
ウォーキングレッスン	5	クープラン生誕350年特集<7>	10
滞在相談室から	6	グローバル時代のコミュニケーション	10
第18回 所得申告説明会のお知らせ	6	場所と人の出会い <20>	11
日本人会活動案内	7	ふらんす俳句会 <119>	11
		春期フランス語講座	12

### 日本人会会報 Journal Japon

年6回発行: 第45巻2号(通巻276号)

発行人 片川 喜代治

編集人 高橋 幸隆

発行 在仏日本人会

ASSOCIATION AMICALE DES RESSORTISSANTS

JAPONAIS EN FRANCE

9, Av. Marceau 75116 Paris

TEL: 01-47-23-33-58

月~土 du lundi au samedi 9:30-12:30 / 13:30-17:30  
www.zaifutsunihonjinkai.fr nihonjinkai@free.fr

\*本誌の無断転載を禁じます

## OCS フランス

朝日新聞国際版・日本経済新聞国際欧州版

国内・国際宅配便

定期購読のお申し込み・書類・貨物の集荷はOCSまで

Tél 01 49 45 81 00 - Email japandesk@ocsfrance.fr